

RENESAS TECHNICAL UPDATE

〒211-8668 神奈川県川崎市中原区下沼部 1753

ルネサス エレクトロニクス株式会社

問合せ窓口 <http://japan.renesas.com/inquiry>E-mail: csc@renesas.com

製品分類	MPU & MCU	発行番号	TN-R8C-A018B/J	Rev.	第2版
題名	R8C ファミリの使用上の注意事項 (3)		情報分類	技術情報	
適用製品	R8C/3x シリーズ R8C/Lx シリーズ R8C/Mx シリーズ	対象ロット等	関連資料	-	

発行番号 TN-R8C-A018A/J (2011年6月28日発行) の第2版です。第2版で、第4項の適用製品に R8C/Lx シリーズ、R8C/Mx シリーズを追加しました。

ユーザーズマニュアルにおいて、以下の内容を追加します。

当該機能のない製品もありますので、ご使用の製品のユーザーズマニュアルでご確認ください。

1. UART2 に関する注意事項

<適用製品：R8C/3x シリーズ、R8C/Lx シリーズ>

UART2 送信バッファレジスタ(U2TB)は MOV 命令を使用して書いてください。U2SMR5 レジスタの MP ビットが“0” (マルチプロセッサ通信禁止) で、転送データ長が 9 ビットの場合は、16 ビット単位で書くか、8 ビット単位で上位バイトを先に、下位バイトを後で書いてください。

2. DTC のチェイン転送に関する注意事項

<適用製品：R8C/3x シリーズ、R8C/Lx シリーズ>

複数のコントロールデータを用いてチェイン転送を行う場合は、最初のコントロールデータに設定された転送回数が有効となり、2番目以降に処理されるコントロールデータの転送回数は無効となります。

例・DTCCT0 = 5、DTCCT1 = 10 の場合、DTCCT0 = DTCCT1 = 5 として動作します。

・DTCCT0 = 10、DTCCT1 = 5 の場合、DTCCT0 = DTCCT1 = 10 として動作します。

・DTCCT0 = 10、DTCCT1 = 5、DTCCT2 = 2 の場合、DTCCT0 = DTCCT1 = DTCCT2 = 10 として動作します。

3. ウェイトモードに関する注意事項

<適用製品：R8C/3x シリーズ、R8C/Lx シリーズ>

低速クロックモードからウェイトモードに移行するときに、CM37～CM36 ビットを 00b 以外に設定する場合は XCIN クロックの周波数を 28kHz 以上にしてください。

高速クロックモードからウェイトモードに移行するときに、CM37～CM36 ビットを 00b 以外に設定する場合は XIN クロックの周波数を 28kHz 以上にしてください。

4. ウェイトモードおよびストップモードに関する注意事項

<適用製品：R8C/35A グループ、R8C/35C グループ、R8C/35M グループ、R8C/36A グループ、R8C/36C グループ、R8C/36M グループ、R8C/38A グループ、R8C/38C グループ、R8C/38M グループ、R8C/3MQ グループ、R8C/3NT グループ、R8C/Lx シリーズ、R8C/Mx シリーズ>

XCIN クロックとして外部で生成されたクロックを使用し、低速クロックモードからウェイトモードまたはストップモードに移行する場合は、ウェイトモードまたはストップモード中も外部で生成されているクロックを停止しないでください。

以上